

あざれあ図書室通信 No.26

No.26

2009.12

身近に男女共同参画 みんなの“知りたい”をバックアップ！

おすすめ★BOOK

「働く = ^{はた}^{らく} 傍を楽にする」という思想

『働き方革命

：あなたが今日から日本を変える方法』
366.7/17 (駒崎弘樹 筑摩書房 2009年)

「働く = 誰かを喜ばせて、優しい気持ちになってもらうこと(傍を楽にする)」という表現に「なるほど!!」と思いました。

この本は、昼夜休日も問わず働く典型的な「働きマン」が、残業なしの定時退社を当たり前として生活するようになった経緯と、数々の使えるワザを紹介しています。



職場において働くことだけを「働く」としない、プライベートも含めた広くて大きな「傍を楽にする」視野。今年30歳の病児保育を行うNPO 法人の代表を務める著者は、次の世代へ残すものとして、今とは違う働き方が当たり前の社会を提案し、実践します。

なんといっても読みやすい語り口が魅力的。さらっと読めるだけでなく、「私の働き方ってどうだろう?」と思わず考えてしまう、実践的で感動的なWLB本です。



自分らしさ



『ゆうかな アイリーン』

ウィリアム・スタイグ/作 セーラー出版
1988年

風邪をひいたお母さんの代わりに、大吹雪の中、ひとりでドレスを届けることになったアイリーン。足をくじいても、日が暮れても、道に迷っても、お母さんを思い出してけっしてくじけません。勇気があって頑張り屋のアイリーンを思わず応援したくなる絵本です。



ジェンダー

ジェンダーの視点で楽しむ
絵本



『はたらきもののじよせつしゃ けいていー』

バージニア・リー・バートン/ぶん・え 福音館書店
1978年

大雪に埋もれた町は、人も車も動けません・・・、ただひとり、除雪車のけいていーを除いては。「ちゃっ!ちゃっ!ちゃっ!」と雪をかきわけて進むけいていーの大活躍で、町はいつもの姿を取り戻します。

けいていーは女性、「乗り物 = 男性」という思い込みに気付かされる1冊です。

特集

妊娠・出産を考える



産む・産まない 自分が納得する選択

『そろそろ産まなきゃ: 出産タイムリミット直前調査』

598.2 / ミウ (三浦天紗子 / 著 阪急コミュニケーションズ 2008年)

いつかは産もうと思っている人のなかには、本当に子どもを産みたいのかを考えた人は少ないといえます。出産は女性自身の生き方を決める切実な問題といっても過言ではありません。実際いつまで産めるのか、産まない生き方などを取り上げて、自分らしい産む・産まないを考える手助けをしてくれます。

お産を選ばってどういうこと？

『えらんだお産: 「聞きたかった!」42人のお産体験ストーリー & 最新お産事情』

598.2 / オオ (大葉ナナコ / 著 河出書房新社 2009年)

お産は「怖いもの」といった一般的なイメージがありますが、それは本当のことでしょうか。お産について自分なりに考え、揺れに揺れて決めた42人のお産体験談からは、また違ったイメージが伝わってきます。



代理出産 温かい世界を知る

『あなたの子宮を貸してください』

495.4 / ヒラ (平井美帆 / 著 講談社 2006年)

本書は、代理母・依頼主・ドクターなど、代理出産に関わる人たちの生の声を聴き取ったものです。「子どもが欲しい」と願い続けてきた女性(依頼主)たちを何とか助けてあげたいと手を挙げる女性(代理母)たち。著者の言う「とてつもなく温かい世界」に触れてみませんか。



司書のビデオ日記 ~ “DVについて知ろう” の巻~

『ウェイトレス』 2008年 108分

ジェンナはパイ作りの天才。コンテスト出場を得意にするが、身勝手な夫に反対されてしまう。出産を機に女性の自立へと目覚めていく物語。

『Dear フランキー』 2006年 102分

暴力が原因で夫から去ったりジーは、父親のふりをして息子へと手紙を送る。家庭での暴力を乗り越えていく親子の物語。

『デートDV - 相手を尊重する関係をつくる-』

2006年 30分

デートDV(恋人間でおこるDV)の啓発ビデオ。被害者にも加害者にもならないために。

『配偶者からの暴力の根絶をめざして

~ 配偶者暴力防止法のしくみ ~』 2009年 35分
平成20年1月に施行された「配偶者暴力防止法」を紹介。

あざれあ図書室から、妊娠・出産を取り巻く状況を知るための図書をご紹介します。

色々な角度から、産む／産まないを見て、自分らしい生き方を考えてみませんか。

(片山)



自分に合った両立方法を見つける！

『ワーキングマザーの妊娠・出産・育児:子育てしながら仕事を続けたいママへ』
598.2/ワー (河野真理子・安藤博子/監修 成美堂出版 2005年)

仕事と子育てどちらも大切にしたいけど、現実的には…。どちらかを諦めてしまう前に自分に合った両立方法を具体的に考えてみませんか。産み時、産休・育休の過ごし方、子どもの預け先など子育てしながら仕事を続けたいママを応援する情報が詰まっています。

おとうさんの出産絵日記

『うん このあかちゃん:おとうちゃんの出産絵日記』 598.2/ハセ

(長谷川義史/著・村中季衣/おせっかい助産師 クレヨンハウス 2006年)

1人目は自然分娩、2人目は助産院、3人目は自宅出産。そんな3回の出産立ち合いの経験をしたお父さんの出産絵日記です。力いっぱい出産する妻と、一緒に同じ痛みを乗り越えようと立ち会う著者が素敵です。

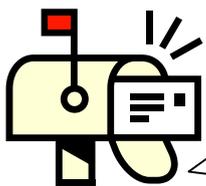


おとうさんからみた妊娠・出産

『底ぬけ父子手帳:エッセイマンガ』

598.2/イチ (いちひろゆき/著 講談社 2005年)

妊娠・出産…。どんなに頑張っても関わるのが限られている父親はどうしても脇役になりがちです。そんな所在無い夫の視点で描いた妊娠出産マンガ。これから父親になる人や、父親になったばかりの人にもおすすめです。



Q:「男女共同参画」をテーマに講演をしてくれる講師を探しています。

みんなの

なんでも
質問
窓口

A:テーマに合わせた講師情報を照会できます。

あざれあ図書室では、チラシや情報誌等から収集した人材情報を、講師情報として、男女共同参画・家庭・教育などの15項目に分類し、データベース化しています。

ご相談に応じて、講演名・講師名・情報元などをまとめた講師リストを作成することができます。

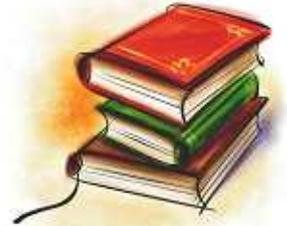
* 講師との仲介は行っておりません。

あざれあ 復刻本ギャラリー

女の新聞：復刻版 F070/オ
第1号～第120号（全1冊）

発行年：昭和33年～昭和43年 出版社：女の出版社（復刻：三門印刷所）
主な著者：杉山千代、入江延子、中垣智津、永瀬清子、松島杜美など

「女性も社会へと目を向けなければいけない」という発行人杉山千代の想いから創刊。
女性の視点で政治・経済・文芸などを報道し、解説している。
年齢・階層にこだわらない「女性のための新聞」として10年間発行される。
廃刊後は『女人随筆』として継続された。



“ちょっと時間が余ったら” 2階ロビーへ！

図書室前に情報発信コーナーを設置しました。

「ちょっと会議まで時間があるなあ」「県内の情報誌が読みたいなあ」
そんな時は、2階ロビーをご利用ください。

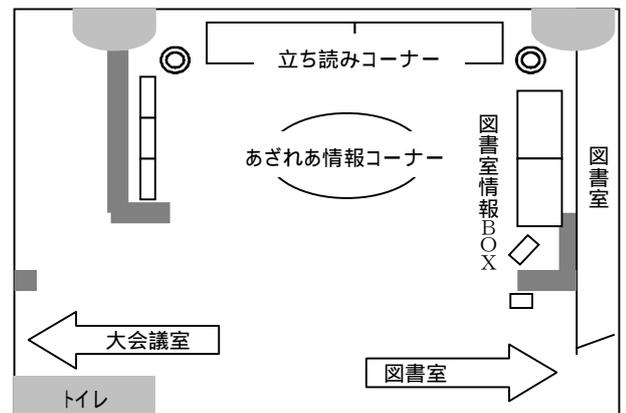


こんなコーナーがあります。

- 「立ち読みコーナー」～時間つぶしにもってこい！～
昨日の新聞やフリーペーパーを読めます。
- 「あざれあ情報コーナー」～あざれあの最新情報をゲット！～
ちらしや情報誌などの発行物を集めました。
- 「図書室情報BOX」
～図書室をもっと便利に使ってもらうために～
あざれあの講座に合わせて作成したリストもあります。

ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

2階ロビー案内図



* * * ご利用案内 * * *

開室時間は？ 平日9：00～18：00、土日9：00～17：00

休室日は？ 第1・3・5日曜日、祝日、年末年始、図書整理日

貸出は？

* 図書5冊、ビデオ2本 2週間

* 貸出カードが必要です。現住所・生年月日を確認できる証明書をお持ちのうえ、
カウンターにお申し出ください。

静岡県男女共同参画センター2F あざれあ図書室

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

T E L : 054-255-8763 / F A X : 054-255-8759

M a i l : library@azarea.pref.shizuoka.jp

U R L : <http://azarea.pref.shizuoka.jp/tosho/azareatosyo.htm>

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■ 休室